

「一般社団法人 社会福祉経営全国会議」

管理職養成学校ニュース



2024年1月20日発行 (No.5) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

養成学校という名の「航海」もいよいよ最終盤へ！

～第4講座「財務分析と事業計画」～

与謝野町での1泊研修も終わり、いよいよ養成学校も最終盤へと向かいます。12月21日に開催された第4講座についてお知らせします。この講座では、財務の力をつけることはもちろんですが、第5講座の卒業発表（中長期事業計画）の作成につながる大事な講座でもあります。財務のことは、ちょっと…いやだ…いぶ苦手…という受講生もいたかもしれません。事前課題も多く、大変だったと思います。しかし法人理念を実現し、権利保障としての社会福祉事業をすすめていくため、自法人・自事業所が持続発展するためには、管理職が財務管理の力を必ず身につけることが重要です。

【講座のねらい】

- ① 現場の実践と財務の数値が結びつけられるきっかけにする
- ② 自事業所の財務状況と経営課題を年間・中長期・月次管理の観点でつかめるようになる
- ③ 自法人の理念や管理者の意志を反映した事業計画と財務管理を結びつけられるようになる



～事前の学びとゼミや職場の仲間との取り組み～

1回だけの講座で財務のことがわかり、身につくほど財務のことは簡単ではありません。第4講座に関していえば、9月から事前の学びがはじまっています。まずは財務管理研修で基礎編・応用編を学び、テキストと解説動画を視聴し、自事業所の決算書から会計ワークシートを作成。一息つく間もなく事業計画を作成するにあたり職場でプロジェクトチームを編成し、SWOT分析、クロス分析をしてからBSC（バランス・スコアカード）作成にと奮闘しながら、当日のプレゼンへと向かいました。日常の業務もありながら、養成学校のこともしながら、ここまでくるにはなかなかハードな日々だったと思います。それでも自主ゼミを通して受講生同士が率直にわからないことや悩みを出し合い、議論をしながら励まし合いながら一歩ずつ進んできました。また職場の中でチームを作り、一人で悶々と考えるのではなく、一緒に考えることで自事業所の強みや課題、これからの展望など新しい発見や視点で話し合えたのがよかったなどの手応えを感じる事前の取り組みになりました。

～プレゼンカに磨きがかかる～

今回のプレゼンは、職員会議で自事業所の財務分析を踏まえた上で事業計画を話し、ともにすすめる職員の合意形成を図るという設定でした。職員が財政のことを聞いてもわかるようにイラストやグラフを用いて工夫したり、数字の根拠を示して事業継続のために何が必要か、そのために何をすべきか具体的な取り組みを示したり、職員にどう考えるかどうしたいか投げかけたり、職員の名前を出して褒めたりなど、事前課題の学びの苦勞やゼミや職場の仲間との取り組みが活かされ聞き応えのあるプレゼンばかりでした。受講生のプレゼンカの磨きが素晴らしいです。卒業発表がますます楽しみになってきました！

～計画の基本は5W1H（When・Where・Who・What・Why・How）～

午後は、まず各ゼミでプレゼンの振り返りと発表を行いました。具体的に良かったプレゼンとして、財務と事業所の課題が分かりやすく整理されていたプレゼン、現場のスタッフにも分かりやすいプレゼンをされた方の名前が多く挙げられていました。財務状況や課題を通して、自事業所で働く一人ひとりのスタッフに向けて、管理者の思いや願いをメッセージとして届けたプレゼンはとても印象に残りました。

その後は山本先生からのプレゼン講評と講義です。ついつい私たちが使ってしまうがちな「検討する」「努力する」「思う」などの抽象的な表現は曖昧で分かりにくい。アクションプランは具体的な数値を示し、5W1H（いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どのように）の視点が大切であることを指摘されました。常に「なぜ」を問いながらすすめることが重要であること、数値は万能ではなく、実践と数値のバランス感覚が大事であることを話されました。

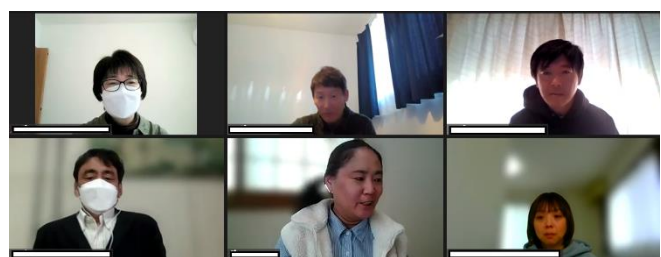
3分という短いプレゼンであっても、誰に何を伝えるのか、情報を取捨選択し、言葉を研ぎ澄ますことにより本質を伝えることができること。事業所改善への過程ではトップダウンでなくボトムアップ（民主的に）が大切であること。民主的な運営になることで、職員の主体性が発揮されることも話していただきました。

～数字って案外面白い！～

その後は本日のメイン企画である総合問題です。「A 保育園の道をひらけ！」と題し、ある法人の決算書の数値を見て、事業の問題点を見つけ、経営改善の提案をしてもらいました。グループワークでは、「入所児童がたびたび減っているのは何故？」「退職者が続いているのは、職場の人間関係に問題を抱えているのでは？」「先を見通した修繕計画がされていない！」「園長一人で事務や管理業務をまわすのは無理があるのではないか」など、1時間弱は自由に気づいたことを出し合い現状分析を行いました。

後半は改善計画についてです。「財務分析をしっかりと行い、計画的に人材確保、修繕計画等を立てていくことがある」「事務員を置くことが必要！」「保育園の良さをもっとアピールして入所増につなげないと」など、様々な意見が出されました。あるゼミではまず何から優先的にとりくむのかで意見が分かれ、まるで自事業所の方針を議論するかのような熱いグループワークが行われていました。

リアクションペーパーからは、「数字からこれだけ広く深く話せるのですね」「財務に苦手意識がありましたが、実はおもしろいものだ気づかされました」などの感想が出されていました。この総合問題を通して、事業所の財務状況を様々な視点からつかめるようになることと併せて、数字を見ることのおもしろさにも気づけた受講生が多くいたようです。



第5講座 1月25日（木） 13時～17時

「卒業発表・修了式」これまでの学びの総決算として、自法人・自事業所の中長期事業計画を作成発表します。プレゼン時間は5分！ 計画作成にあたっては、各職場でプロジェクトチームを組織しました。「意見を引き出す力」「伝える力」「マネジメント力」など、管理者として必要な資質が求められます。送り出し法人・職場の皆さま方には、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。